

東京都ペストコントロール協会2016

公益社団法人 東京都ペストコントロール協会 会長 玉田 昭男

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご健勝でよき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2014年8月に代々木公園にて発生が確認されたデング熱対策により、緊張を強いられた一年がすぎ新たな年を無事迎えることが出来ました。東京都との連携により、昨年は国内発生を回避することができ、ホッとしているのが正直なところであります。2020年東京オリンピックまで5年を切り、デング熱を含む感染症対策も場当たりの薬剤対応での単年対策から、環境改善を考慮した長いスパンでの対策に切り替える必要性があり、当協会も体制をシフトしていく所存でございます。

また昨年は10月に発生した台風18号に起因する、関東・東北豪雨により鬼怒川が氾濫し、茨城・栃木両県またその周辺に甚大な被害が発生しました。近年増加傾向にある異常なまでの集中豪雨により、大河川がいくつもある東京でも類似した被害が発生しないとも限りません。かつて考えもしなかったリスクが増え、我々PCOも本業以外の突発的な事態に対し、対応できる適応力を身に着ける必要性が迫っているのかもしれない。

さらに都民から信頼される協会・会員となることを引き続き目指し、害虫相談所・区市町村で開催されるイベントなどの参加要請に積極的に応えて都民と顔を合わせて直接に言葉を交わすことによって、都民と協会の距離短縮に邁進してまいります。

参加経験のない協会員におかれましては、これに進んでご参加いただき、都民との信頼関係構築にご協力をお願いいたします。

結びにあたり今年も引き続き協会運営にご指導とご協力をお願いし、皆様におかれましてはご健勝でご活躍の年になりますよう祈念して新年のご挨拶といたします。